

外国語学習とコロケーション

ーロシア語の「勉強する」という語義の動詞をめぐってー

秋山 真一

キーワード：コロケーション，ロシア語，コーパス，類義語，外国語教育

1. はじめに

1.1. 本稿の基盤となる研究について

本稿は2018年7月14日に神奈川大学で行われたシンポジウム「言語教育とコロケーションーロシア語と日本語」の中で執筆者が行った口頭発表「外国語学習とコロケーション」の内容をもとに執筆したものである。

執筆者は2015年度から2017年度の3年間にわたる科学研究費助成事業「ロシア語教育における基礎語彙コロケーション」¹（以下、科研費研究と表記する）の研究代表者を務めたが、その研究の中で日本において出版されているロシア語初級の教科書の例文収集を行い、そのコロケーションについて分析をした。本稿はその分析資料の一部を利用して執筆するものである。

1.2. 科研費研究で収集した教科書例文のデータベース

1.1で触れた科研費研究で例文を収集したロシア語教科書は以下の17冊で、そのタイトル、著者、出版社、出版年、総ページ数、例文数は（表1）の通りである。

¹ 本研究はJSPS科研費15K02759の助成を受けたものである。

基盤研究(C)(一般) JSPS 科研費 15K02759 研究代表者：秋山真一（上智大学）、研究分担者：堤正典（神奈川大学）、朝妻恵里子（慶應義塾大学）、研究協力者：ラプチェワ・マリーヤ・レオニードヴナ（アストラハン国立大学）、佐山豪太（東京外国語大学大学院・当時）

堤 正典 編『言語教育におけるコロケーションーロシア語と日本語ー 報告論集』

神奈川大学, 2019, pp. 3-19.

Masanori TSUTSUMI (ed.) *Collocation in Language Education: the Cases of Russian and Japanese*.
Yokohama: Kanagawa University, 2019, pp. 3-19.

(表1) 「ロシア語教育における基礎語彙コロケーション」で扱った教科書一覧

| 教科書名 | 著者 | 出版社 出版年 | 総頁数 | 例文数 |
|-----------------------|----------------------------|---------------|-----|------|
| 『1年生のロシア語』 | 戸辺又方 | 白水社 2000 | 63 | 588 |
| 『CD エクスプレス ロシア語』 | 桑野隆 | 白水社 2002 | 145 | 785 |
| 『ニューエクスプレス ロシア語』 | 黒田龍之助 | 白水社 2007 | 138 | 821 |
| 『しっかり学ぶロシア語』 | 前木祥子 | ベレ出版 2004 | 227 | 1035 |
| 『ロシア語の教科書』 | 古賀義顕、 鴻野わか菜 | ナウカ出版 2012 | 155 | 1039 |
| 『総合ロシア語入門』 | 安岡治子 | 研究社 2011 | 300 | 1461 |
| 『ロシア語 総合と練習』 | 秦野一宏、 トルストグ'ツフ・ セルゲイ | 白水社 2012 | 105 | 615 |
| 『こうすれば話せる CD ロシア語』 | 宇多文雄、 宇多久美子 | 朝日出版社 1998 | 156 | 930 |
| 『話すロシア語入門』 | 米重文樹 | 白水社 1996 | 46 | 903 |
| 『新版 初めての ロシア語』 | 桑野隆 | 白水社 2016 | 77 | 677 |
| 『一冊目のロシア語』 | 中澤英彦 | 東洋書店 2010 | 256 | 1004 |
| 『ロシア語初級クラス』 | 佐藤純一 | 白水社 1993 | 79 | 819 |
| 『セメスターのロシア語』 | 諫早勇一、 服部文昭、 大平陽一 | 白水社 1999 | 52 | 521 |
| 『今すぐ話せるロシア語 入門編』 | 阿部昇吉 | ナガセ 2001 | 159 | 693 |
| 『ロシア語への パスポート』 | 中島由美、 柳町裕子、 黒田龍之助 | 白水社 2005 | 79 | 655 |
| 『ロシア語をはじめよう』 | 西中村浩、 朝妻恵里子 | 朝日出版社 2017 | 112 | 861 |

| | | | | |
|-------------------|------------------|--------------------|-----|------|
| 『会話ではじめる ロシア語』 | 山田恒、東井ナギ エージタ | 慶應義塾大学出 版会 2007 | 160 | 1587 |
|-------------------|------------------|--------------------|-----|------|

選択した教科書はその性格が自習用の音声付き学習教材であるものもあれば、教室において教員が使用することを想定した、いわゆる本来の「教科書」であるものも含まれている。ページ数や例文数はまちまちである。出版年はソ連邦崩壊後のものを選択し、かつ、Amazonなどで比較的入手しやすいものを選んだ。著者には一部重複があるが、いくつも重複はしないように配慮した。

教科書の例文データベース作成時には以下のような 1.~3.の手順を踏んだ。

1. 教科書を裁断して高速スキャナで読み取り
2. OCR として ABBYY 社 Fine Reader Pro for Mac を使用
3. 学生アルバイト 3 名による確認・手入力修正

整理されたデータは Microsoft 社の MS-Excel のデータとして保存し、コンマ区切り、スペース区切りでのデータ・エクスポートにも対応できるようにした。

データベースとして収集された例文数は全 14,994 センテンス(1冊平均 882 センテンス)、語数は全 66,198 トークン² (1冊平均 3,894 トークン) となった。

1.3. 「勉強する」という語義について

科研費研究ではさまざまな初級用ロシア語教科書から横断的に例文を収集し、それら例文の統語構造などの傾向を分析するためのデータベースを作成した。今回はそのデータベース資料をもとに「勉強する」という語義に該当する 4 つの動詞 *учить*, *учиться*, *изучать*, *заниматься* をテーマに分析を試みる。

上記 4 つの動詞の中でも語義に注意をしなければならない動詞がある。研究社『露和辞典』によれば動詞 *учить* は多義語で、大きく分類して「教える」という意味と「勉強する・覚える」の意味がある。*учить* 自体は不完了体動詞であるが、「教える」の意味では対応の完了体動詞として *научить* または *обучить* が挙げられ、「勉強する・覚える」の意味では対応の完了体動詞として *выучить* が挙げられている(東郷ほか 1988: 2500)。以下の例(1)から(3)も併せて参照されたい。

² 語としての異なりを無視した総語数のこと。

(1) учить кого грамоте³ 「(誰々に)読み書きを教える」

(2) В средней школе я учил химию и физику.

「中学校では化学と物理学を勉強した」

(3) учить роль 「役[せりふ]を覚える」

本稿で「勉強する」という語義に該当するのは上記(2)の例のみとする。ロシア人が編集した辞書や参考書では(2)と(3)のような例は同一の語義として紹介されることが多いが、日本人にとって(2)の例文に「化学と物理学を覚えた」という訳を与えることには違和感を覚え、また、(3)の例文に「役[せりふ]を学ぶ」や「役[せりふ]を勉強する」という訳を与えることにも違和感を覚える。しかしながら、(2)の意味が常に「勉強する」という訳語のみで対応可能だというつもりはない。時には「学ぶ」という訳語が適切な場合もあるだろう。(2)の例で「中学校では化学と物理学を学んだ」と訳しても不自然ではないと思われる。その意味で、やや主観的な判断にはなるが、日本語の「勉強する」も「学ぶ」も本稿では「勉強する」という語義と同一であると見なすことにする。

また、動詞 заниматься も多義で「勉強する」という意味以外に「…に従事する」「(運動などを)する」という意味が存在する。同じく研究社『露和辞典』から例(4)から(6)を挙げる。(東郷、他 1988: 627-628)

(4) заниматься математикой 「数学を勉強する」

(5) заниматься уборкой комнаты 「部屋の掃除をする」

(6) заниматься спортом 「スポーツをする」

本稿では(4)の用法のみを「勉強する」という語義と見なす。

учиться については「勉強する」の他に「習う」という意味も存在するが、本稿ではこれを「勉強する」という語義と同一視することにする。изучать については「研究する」という意味も存在するが、これも「勉強する」という語義と同一視することにする。

さて、研究社『露和辞典』では4つの動詞 учить, учиться, изучать, заниматься に関して以下の(7)から(10)のような例が挙げられている。

³ 例文中に登場する4つの動詞 учить, учиться, изучать, заниматься の語形態 словоформа に下線を秋山が引いた。以下、すべての例文について同様。

(7) Он сейчас учит русский язык. (東郷、他 1988 : 2500)

「彼はいま課業のロシア語を勉強しているところだ」

(8) учиться английскому языку (東郷、他 1988 : 2501)

「英語を学ぶ」

(9) Сейчас он изучает китайский язык. (東郷、他 1988 : 730)

「今彼は中国語をやっている」

(10) заниматься русским языком (東郷、他 1988 : 628)

「ロシア語を勉強する」

さらに研究社『露和辞典』では類義語解説が見出し語 учиться のところに掲載されており、以下のような内容が記されている。(東郷、他 1988 : 2500-2501)

- ・ учить は口語でもっともよく使われ、意味が広い。
- ・ учиться は一般的に「勉強する、学ぶ」の意で、「ある学校に通う・籍を置く」を意味したり、「学業成績」や「学科目・学ぶ事柄」に注目する。
- ・ изучать は何らかの分野で体系的な知識を得ることで、「学習する」「研究する」という意味である。
- ・ заниматься は「練習問題をやったり参考書を調べる」などの具体的作業を表す。

詳細に類義語の使い分けが記されてはいるのだが、学習者が「勉強する」という語彙を和露辞典で引いた結果 учить, учиться, изучать, заниматься などの動詞が提示され、そこから研究社『露和辞典』に戻ってきたとすると、「～語を勉強する」という意味内容をロシア語に翻訳したい学習者はどの動詞を選んで表現すべきなのか、結局判然とせず、いたずらに混乱させる記述であることは否定できない。

2. データ分析

「勉強する」という語義の 4 つの動詞 учить, учиться, изучать, заниматься について、既存の辞書や参考書では学習者がその例文に採用されたコロケーションから語義を理解して使い分けることが難しいという点について 1.3 で述べたが、では、どのようなコロケーションを提示することが学習者の理解を助けることになるだろうか？

2. 1. учить, учиться, изучать, заниматься の決定的なコロケーション

1.3. で引用した研究社『露和辞典』の語義解釈を参考にしつつ、4つの動詞 *учить, учиться, изучать, заниматься* について決定的なコロケーションを以下のように提案する。

учить は広く用いられると説明されており決定的なコロケーションを提示するのが非常に難しいが、他動詞であるため対格補語をコロケーションに含めた方が良いと思われる。そこで「(授業のための) 予習・復習をする」という意味の *учить уроки* をコロケーションとして含む以下の例(11)を挙げてみる。対格補語が *уроки* という複数形とすることによって特定の勉強ではなく広範囲な勉強というニュアンスを伝えることも意識した⁴。

(11) В комнате она учит уроки.⁵

「部屋で彼女は予習・復習をしている」

учиться は「ある学校に通う・籍を置く」という点を重視し、「学部」факультет を場所の状況語として補った *учиться на (...) факультете* というコロケーションを決定的なものとして提示する。例としては以下の(12)のようなものが挙げられる。

(12) Она учится на экономическом факультете.

「彼女は経済学部で学んでいる」

изучать では「研究する」という意味を重視する。他動詞であるため、*учить* と同様、対格補語をコロケーションとして組み合わせる。ロシアで出版された類義語辞典である Слесарева 2011 によると、初等・中等教育までの勉強には *учить* を、高等教育での勉強には *изучать* を用いると指摘されている (Слесарева 2011: 83) ことから、大学までの教育では扱わないことが想定される学問名を対格補語に補えば、「研究する」というニュアンスは伝わると思われる。そこで「法律」право を対格補語とした *изучать право* を決定的なコロケーションとして提案する。(13)に挙げる例などが考えられる。

(13) Он решил изучать право в университете.

「彼は大学で法律を勉強することにした」

⁴ 執筆者の思い付きではなく、Слесарева2011 などに挙げられている例から採用したものである。
(Слесарева 2011: 81)

⁵ この例以降、引用元表示のない例文は執筆者が作成し、ネイティブスピーカーによるチェックを受けたものである。

заниматься は「具体的な作業」を表すということだが、Слесарева 2011 に挙げられた例を参照すると、заниматься целыми днями「(何日間か)日中ずっと勉強する」、заниматься с утра до вечера「朝から晩まで勉強する」といった時の状況語と共起する例が多い(Слесарева 2011: 82) ことから、時間的に 1 日から数日という短い時間が想定される語義だと思われる。その点を重視し、その場にはずっと滞在することが想定されない場所として図書館 библиотека を場所の状況語として補い、заниматься в библиотеке というコロケーションを決定的なものとして提案する。例(14)では「昨日」вчера という時の状況語も添えて短時間の勉強を示唆することも意識した。

(14) Вчера он занимался в библиотеке.

「昨日彼は図書館で勉強していた」

2.2. 既存のコーパスを用いた裏付け

2.1 で「予習・復習をする」учить уроки, 「～学部で学ぶ」учиться на ... факультете, 「法律を勉強する」изучать право, 「図書館で勉強する」заниматься в библиотеке の 4 つを決定的なコロケーションとして提示したが、これらのコロケーションが他の動詞と共に用いられない、または、用いられにくいことを提示しなくては決定的なコロケーションと呼ぶには値しない。そこで、WEB で検索可能な大規模均衡コーパスであるロシア・ナショナル・コーパス Национальный корпус русского языка⁶(以下、НКРЯ と表記)と、Sketch Engine⁷ という有料の WEB コーパスソフトを用いて検索可能なロシア語大規模モニターコーパスである ruTenTen11 を用いて上記コロケーションの有用性を検証する。

ロシア・ナショナル・コーパスや ruTenTen11 についてはスルダノヴィッチ&仁科 2008 および佐山 2019⁸が詳しいので、そちらを参照されたい。

2.2.1. учить уроки というコロケーションの有用性

まず учить уроки というコロケーションの有用性を検証するため、уроки が учить 以外の

⁶ <http://www.ruscorpora.ru/>

⁷ <https://www.sketchengine.eu/> (検索結果の最終アクセスは 2019 年 1 月)

⁸ 2018 年度中に刊行予定。

учиться, изучать, заниматься とどの程度共起して用いられる（あるいは用いられない）のかを検証する。НКРЯ および ruTenTen11 での検索ヒット数は（表 2）の通りである。

（表 2）「勉強する」という語義の動詞と уроки との共起数

| | 検索したコロケーション ⁹ | НКРЯ* | ruTenTen11** |
|------------|--------------------------|-------|--------------|
| учить | учить уроки | 42 | 2533 |
| учиться | учиться урокам | 0 | 17 |
| изучать | изучать уроки | 1 | 152 |
| заниматься | заниматься уроками | 2 | 410 |

*НКРЯ での検索方法：поиск в корпусе → Лексико-грамматический поиск → 1 つめの検索語彙に各動詞（文法特性として直説法をチェック）→ 2 つめの検索語彙に урок（文法特性として複数をチェック）

**ruTenTen11 での検索方法：search → Query type として phrase を選択 → Phrase に各動詞の不定形および諸変化形¹⁰ + уроки / урокам / уроками をそれぞれ入力して Make Concordance をクリック → コンコーダンスのヒット数を合計

учить 以外の動詞でも урок の複数形を補語として共起する例は排除されなかった。НКРЯ において учиться урокам というコロケーションはヒットしなかったが、その原因は ruTenTen11 よりも НКРЯ の方がコーパスサイズが小さいためと考えられる。しかし、いずれのコーパスでも учить уроки というコロケーションのヒット数が明らかに多く、他の動詞との共起数を大きく上回っていた。учить уроки というコロケーションの決め手としての有用性は高いと言えるだろう。

2.2.2. учиться на (...) факультете というコロケーションの有用性

次に учиться на (...) факультете というコロケーションとしての有用性を検証する。на (...) факультете が учиться 以外の учить, изучать, заниматься とどの程度共起して用いられる（あるいは用いられない）のかを検証する。НКРЯ および ruTenTen11 での検索ヒット数

⁹ учить, изучать は他動詞であるため、複数名詞 уроки を対格の補語として検索、учиться と заниматься は自動詞であるため、それぞれ与格と造格の補語として検索した。2.2.3 における単数名詞 право でも同様の処理を行った。

¹⁰ учить ならば учить уроки; учу уроки, учишь уроки, ... , учат уроки; учил уроки, учила уроки, учили уроки のようにそれぞれ入力した。以下、2.2.2、2.2.3、2.2.4 でも同様の処理を行った。

は（表 3）の通りである。

（表 3）「勉強する」という語義の動詞と на (...) факультете との共起数

| | 検索したコロケーション | НКРЯ* | ruTenTen11** |
|------------|--------------------------------|-------|--------------|
| учить | учить на (...) факультете | 0 | 68 |
| учиться | учиться на (...) факультете | 94 | 2310 |
| изучать | изучать на (...) факультете | 2 | 37 |
| заниматься | заниматься на (...) факультете | 2 | 45 |

*НКРЯでの検索方法：поиск в корпусе → Лексико-грамматический поиск → 1 つめの検索語彙に各動詞 → 2 つめの検索語彙に на → 3 つめの検索語彙に факультет（文法特性として単数・前置格をチェック） → на と факультете との間に形容詞による一致定語が入る可能性があるため 2 つめの検索語彙(на)と 3 つめの検索語彙(факультет)の間の расстояние を 1～2（от 1 до 2）に変更

**ruTenTen11での検索方法：search → Query type として phrase を選択 → Phrase に各動詞の不定形および諸変化形 + на факультете をそれぞれ入力して Make Concordance をクリック → コンコーダンスのヒット数を合計

учиться 以外の動詞でも на (...) факультете を場所の状況語として共起する例は排除されなかった。НКРЯにおいて учить на (...) факультете というコロケーションはヒットしなかったが、その原因は НКРЯ のコーパスサイズの問題と考えられる。しかしながら、いずれのコーパスでも учиться на (...) факультете というコロケーションのヒット数は明らかに多く、他の動詞との共起数を大きく上回っていた。учиться на (...) факультете というコロケーションの決め手としての有用性は高いと言えるだろう。

2.2.3. изучать право というコロケーションの有用性

3 つめに изучать право というコロケーションとしての有用性を検証するため、право が изучать 以外の учить, учиться, заниматься とどの程度共起して用いられる（あるいは用いられない）のかを検証する。НКРЯ および ruTenTen11 での検索ヒット数は（表 4）の通りである。

(表 4) 「勉強する」という語義の動詞と право との共起数

| | 検索したコロケーション | НКРЯ* | ruTenTen11** |
|------------|-------------------|-------|--------------|
| учить | учить право | 0 | 36 |
| учиться | учиться праву | 1 | 39 |
| изучать | изучать право | 10 | 1368 |
| заниматься | заниматься правом | 0 | 115 |

*НКРЯ での検索方法：поиск в корпусе → Лексико-грамматический поиск → 1 つめの検索語彙に各動詞（文法特性として直説法をチェック）→ 2 つめの検索語彙に право（文法特性として単数をチェック）

**ruTenTen11 での検索方法：search → Query type として phrase を選択 → Phrase に各動詞の不定形および諸変化形+ право / праву / правом をそれぞれ入力して Make Concordance をクリック → コンコーダンスのヒット数を合計

изучать 以外の動詞でも право を補語として共起する例は排除されなかった。НКРЯ において учить право, заниматься правом というコロケーションはヒットしなかったが、その原因はここでも НКРЯ のコーパスサイズによるものと考えて問題ないだろう。НКРЯ では изучать право というコロケーションのヒット数だけが 2 桁に届き、他の動詞との共起数を上回った。ruTenTen11 では изучать право というコロケーションのヒット数が明らかに多く、他の動詞との共起数を大きく上回った。изучать право というコロケーションの決め手としての有用性は高いと判断して問題ないだろう。

2.2.4. заниматься в библиотеке というコロケーションの有用性

最後に заниматься в библиотеке というコロケーションの有用性を検証する。в библиотеке が заниматься 以外の учить, учиться, изучать とどの程度共起して用いられる（あるいは用いられない）のかを検証する。НКРЯ および ruTenTen11 での検索ヒット数は（表 5）の通りである。

(表 5) 「勉強する」という語義の動詞と в библиотеке との共起数

| | 検索したコロケーション | НКРЯ* | ruTenTen11** |
|------------|-------------------------|-------|--------------|
| учить | учить в библиотеке | 0 | 0 |
| учиться | учиться в библиотеке | 1 | 5 |
| изучать | изучать в библиотеке | 1 | 12 |
| заниматься | заниматься в библиотеке | 14 | 174 |

*НКРЯでの検索方法：поиск в корпусе → Лексико-грамматический поиск → 1 つめの検索語彙に各動詞 → 2 つめの検索語彙に в → 3 つめの検索語彙に библиотека (文法特性として単数・前置格をチェック)

**ruTenTen11での検索方法：search → Query type として phrase を選択 → Phrase に各動詞の不定形および諸変化形 + в библиотеке をそれぞれ入力して Make Concordance をクリック → コンコーダンスのヒット数を合計

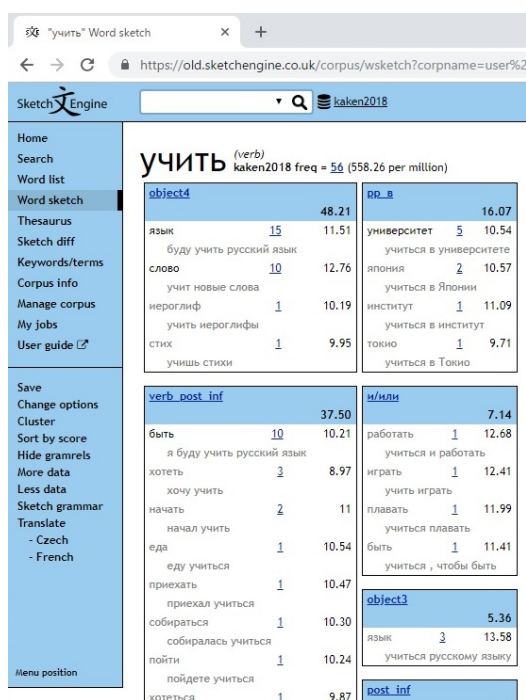
заниматься 以外の動詞では учиться, изучать で в библиотеке を場所の状況語として共起する例が散見された。他動詞の учить が в библиотеке と (間に語を挟まずに) 共起する例は НКРЯ でも ruTenTen11 でも発見されなかった。いずれのコーパスでも заниматься в библиотеке というコロケーションのヒット数は明らかに多く、他の動詞との共起数を大きく上回っていた。заниматься в библиотеке というコロケーションが決定的なものとして高い有用性を持つと言えるだろう。

2.3. Sketch Engine を用いた科研費研究データによる検証

1.2.でも触れたとおり、科研費研究のデータベースは MS-Excel のデータとして保存しているが、そのデータをスペース区切りとしてエクスポートすれば Sketch Engine の独自コーパス作成ツールによって、そのデータベース内の word sketch などの機能を使ってデータ分析することが可能となる。

科研費研究で収集した教科書の例文データを Sketch Engine にインポートして4つの動詞 учить, учиться, изучать, заниматься がどのようなコロケーションで用いられているかの分析を試みる。コロケーションを分析するために Sketch Engine の Word Sketch という機能を用いる。この機能を用いることによって、どのような補語や状況語などともに用いられているかが、頻度数及びログダイス logDice 係数¹¹の順でソートされて提示される。Word Sketch 機能により科研費研究のデータを分析している画面のイメージを (図 1) に掲載する。

¹¹ 語と語の結びつきの強さを表す係数の一つ。https://www.sketchengine.eu/my_keywords/logdice/



(図 1) Sketch Engine の Word Sketch を使った科研費研究の分析画面 (учить の例)

2.3.1. 動詞 учить と共起する対格補語の分析

Word Sketch 機能を用いて、まず учить が共起している対格補語の例を確認し、決定的なコロケーションとして提案した учить уроки との関連性を分析する。учить がコロケーションとして共起していた対格補語の語彙とその頻度を (表 6) に挙げる。

(表 6) 動詞 учить が共起している対格補語の例とその頻度

| | | | |
|-------|---------------------|----------------|------|
| учить | язык | ～語を学ぶ | 15 |
| | слово ¹² | 単語を覚える | 10 |
| | иероглиф | 漢字を学ぶ / 漢字を覚える | 1 |
| | стих | 詩を覚える | 1 |
| 合計 | | | 27 例 |

全 27 例のうち、слово「単語」および стих「詩」と共に共起している例は「勉強する」という意味ではなく「覚える」という意味なので今回の研究では除外対象ということになる。つまり実質は 16 例で、そのうち 15 例は язык「言語」と共起している例であった。そ

¹² 結合する語彙は単数主格形で表示されるため、実際の例文では учить новые слова「新出単語 (複数) を覚える」のような例で用いられている可能性がある。以下の例でも同様。

れ以外では иероглиф「漢字」が1例発見されたのみである。

残念ながら本稿で決定的なコロケーションとして提案した учить уроки というコロケーションは科研費研究で対象とした初級用教科書17冊では採用されていなかった。

учить уроки というコロケーションだけが учить という動詞の語義を理解するために役立つコロケーションであるというつもりはないが、ほとんどの教科書で учить ... язык 「～語を学ぶ」という表現しか採用されていないことは残念である。もう少し多様性のある例文を採用する努力が必要であろう。

2.3.2. 動詞 учиться と共起する場所の状況語の分析

次に動詞 учиться が共起している場所の状況語の例と頻度を確認し（表7）、決定的なコロケーションとして提案した учиться на (...) факультете との関連性を分析する。

（表7）動詞 учиться が共起している場所の状況語の例とその頻度

| | | | | |
|---------|------|-------------|--------------|------|
| учиться | (в) | университет | 総合大学で学ぶ | 27 |
| | (в) | Москва | モスクワで学ぶ | 11 |
| | (в) | школа | (小中高等) 学校で学ぶ | 9 |
| | (в) | Япония | 日本で学ぶ | 2 |
| | (на) | факультет | ～学部で学ぶ | 2 |
| | (в) | аспирантура | 大学院で学ぶ | 1 |
| | (в) | институт | 単科大学で学ぶ | 1 |
| | (в) | город | 都市で学ぶ | 1 |
| | (в) | Россия | ロシアで学ぶ | 1 |
| | (в) | Токио | 東京で学ぶ | 1 |
| 合計 | | | | 56 例 |

全56例のうち、最も共起していた名詞は университет「大学」で27例あった。以下、Москва「モスクワ」、школа「(小中高等) 学校」が続き、Япония「日本」の2例と並んで факультет「学部」も2例採用されていた。

本稿で決定的なコロケーションとして提案した учиться на (...) факультете というコロケーションの採用率は2例と低いが、その他のコロケーションも動詞 учиться の語義のうち「ある学校に通う・籍を置く」（1.3.を参照）という意味が良く反映されており、本稿の狙いと大きく外れてはいないと思われる。учиться в Москве「モスクワで学ぶ」、учиться в России「ロシアで学ぶ」というコロケーションは「モスクワに留学する」、「ロシアに留

学する」という意味でも用いられており、研究社『露和辞典』が指摘していなかった語義を反映させた良例であると言えよう。

2.3.3. 動詞 изучать と共起する対格補語の分析

次に動詞 изучать が共起している対格補語の例と頻度を確認し（表 8）、決定的なコロケーションとして提案した изучать право との関連性を分析する。

（表 8）動詞 изучать が結合している対格補語の例とその頻度

| | | | |
|---------|------------|--------|-------|
| изучать | язык | ～語を学ぶ | 100 |
| | литература | 文学を学ぶ | 6 |
| | политика | 政治学を学ぶ | 1 |
| | математика | 数学を学ぶ | 1 |
| | история | 歴史を学ぶ | 1 |
| | урок | ～課を学ぶ | 1 |
| 合計 | | | 110 例 |

全 110 例のうち 100 例が язык「言語」と共起している例であった。それ以外では литература「文学」が 6 例発見され、残りの語彙は 1 例ずつしか採用されていなかった。

残念ながら本稿で決定的なコロケーションとして提案した изучать право というコロケーションは採用されていなかったが、литература「文学」や политика「政治学」は初等・中等教育で学ぶ機会が少ないと思われ、高等教育で研究するという語義を反映させた例としては良例であると思われる。

動詞 учить と同様、ほとんどの教科書で изучать ... язык「～語を学ぶ」という表現ばかりが採用される傾向が顕著である。教科書での例文の多様性が求められる。

2.3.4. 動詞 заниматься と共起する場所の状況語の分析

最後に動詞 заниматься が共起している場所の状況語の例と頻度を確認し（表 9）、決定的なコロケーションとして提案した заниматься в библиотеке との関連性を分析する。

(表 9) 動詞 **заниматься** が結合している場所の状況語の例とその頻度

| | | | | |
|------------|-----|-------------|----------|------|
| заниматься | (в) | библиотека | 図書館で勉強する | 7 |
| | (в) | университет | 大学で勉強する | 2 |
| | (в) | Россия | ロシアで学ぶ | 1 |
| 合計 | | | | 10 例 |

全 10 例のうち、最も多く共起していた名詞が **библиотека**「図書館」で 7 例あった。本稿で決定的なコロケーションとして提案した **заниматься в библиотеке** が多く採用されていた。

時間的に 1 日から数日程度という短期間で行われる「具体的な作業」を表す (2.1.参照) コロケーションとして最適なのだと推測される。

3. 結論

「勉強する」という語義の 4 つの動詞 **учить**, **учиться**, **изучать**, **заниматься** を対象に、それぞれの語義をロシア語学習者により良く理解してもらえるようなコロケーションを提案し、決定的なコロケーションと名付けた。本稿で提案した各動詞の決定的なコロケーションは以下の 4 つだった。

- **учить** : **учить уроки** 「予習・復習をする」
- **учиться**: **учиться на (...) факультете** 「～学部で学ぶ」
- **изучать**: **изучать право** 「法律を勉強する」
- **заниматься**: **заниматься в библиотеке** 「図書館で勉強する」

これら決定的なコロケーションを、科研費研究で研究対象とした 17 冊の初級用ロシア語教科書の例文と照らし合わせ、どの程度反映されているかを検証した。結果として自動詞の **учиться** および **заниматься** では場所の状況語として決定的なコロケーションが採用されている傾向にあったが、他動詞の **учить** および **изучать** では決定的なコロケーションは全く採用されておらず、そもそも教科書の例文では **учить**, **изучать** 共に **язык**「言語」を対格補語としてコロケーションを形成してばかりいる状況であった。他動詞の **учить**, **изучать** を用いた例文ではより多様なコロケーションを導入する工夫が必要なだけでなく、それぞれの語義が正しく理解されるような語彙を対格補語として積極的に採用するべきだと提案した。

今回は対象とした語彙が「勉強する」という語義の4つの動詞 *учить, учиться, изучать, заниматься* のみであったが、今後もロシア語学習者にとって区別が難しい類義語の例として、語の頻度のみならず、他の類義語とは共起しない、または共起しにくい語彙を見出して、そうした語彙を積極的に例文に取り入れる努力を教育する側、つまり教科書を作成する側がする必要があるだろう。機会があれば、さまざまな類義語についても今後決定的なコロケーションの発見・提案を続けていきたいと考えている。

文献一覧

Слесарева И. П.(ред.) Словарь-справочник по русскому языку для иностранцев. Русский язык. Курсы. М., 2011.

佐山豪太 2019 (刊行予定) 「言語研究に適したロシア語コーパス・頻度辞書 ~ 均衡コーパスとモニターコーパスの比較を通して ~」『上智大学外国語学部紀要』53: ページ数未定、東京

スルダノヴィッチ・エリャヴェッツ・イレーナ、仁科 喜久子 2008 「コーパス検索ツール Sketch Engine の日本語版とその利用方法」『日本語科学』、23、国立国語研究所、東京(https://www.sketchengine.eu/wp-content/uploads/2015/05/Sketch_Engine_corpus_query_2008.pdf) (最終アクセス 2019/02/09)

東郷正延、他編 1988 『研究社露和辞典』、研究社、東京

外国語学習とコロケーション

ーロシア語の「勉強する」という語義の動詞をめぐってー

秋山 真一

本稿はロシア語初級教科書に採用されている例文を対象として、「勉強する」という語義の4動詞がどのようなコロケーションで用いられているかを分析し、今後のロシア語教育に役立つようなコロケーションや例文の提示を志すものである。

本稿で扱う *учить*, *учиться*, *изучать*, *заниматься* の4つの動詞はいずれも日本語で「勉強する」と和訳される機会が多い。こうした4つの類義語について、それぞれの語の使い分けを解説した先行研究は多く、コロケーションの例も示されてはきたが、他の類義語と共起しない（または共起しにくい）ことを想定したコロケーション選びはなされてこなかったように思われる。そこで本稿では他の類義語とは共起しにくい「決定的な」コロケーションとして *учить уроки* 「(授業の)予習・復習をする」、*учиться на (...) факультете* 「～学部で学ぶ」、*изучать право* 「法律を勉強する」、*заниматься в библиотеке* 「図書館で勉強する」という4つを挙げ、それらが他の類義語と共起しにくいことを既存のコーパスを使って検証するとともに、日本で出版されているロシア語初級用教科書17冊において例文として上記4つのコロケーションが使用されているか否かを分析した。

結果として、*учиться на (...) факультете* 「～学部で学ぶ」と *заниматься в библиотеке* 「図書館で勉強する」というコロケーションはロシア語初級用教科書で比較的採用されている傾向が見られたが、*учить уроки* 「(授業の)予習・復習をする」と *изучать право* 「法律を勉強する」というコロケーションは全く採用されておらず、さらに、*учить* および *изучать* を用いた例文は *язык* 「言語」という名詞と共起した例文がほとんどであることが判明した。